

地域再生計画（変更）新旧対照表

| 新 | 旧 |
|--|---|
| <p>(1～3 略)</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <p>帯広市は北海道の東部、広大な十勝平野の中心に位置し、大地を潤す十勝川や札内川の清澄で豊富な水や、全国有数の長さを誇る日照時間など豊かな自然の恵みを受けて、基幹産業である大規模な農業が展開されている。<u>耕地面積が30haを超える農家が全体の47%を超え、農業産出額も269.9億円を誇っている。</u></p> <p>帯広市はこの農業を基幹とする第1次産業と、お菓子や乳製品、畜産加工品など関連する食品加工・製造業、加えて公共投資による土木建設業といった第2次産業、また十勝の中核都市であるという地勢から、地域に集まる人を対象とした第3次産業により発展してきた都市である。</p> <p>しかしながら、<u>営農規模の拡大に伴い、農業後継者の経営ノウハウや労働環境の改善</u>といった問題や、ブランドイメージのさらなる向上のための「食の安全・安心」と環境へ配慮したクリーン農業の推進など多くの課題を抱えているほか、<u>EPA（経済連携協定）やFTA（自由貿易協定）交渉の動向</u>など将来的な懸念材料も抱えているところである。</p> <p>また、農業と関連する食料品製造業は、製造品出荷額等の5割以上を占め、十勝圏を特長づける部門ではあるが、現状では1次産業の移輸出率が高く、大規模畑作・畜産を背景とした原料供給地帯としての性格が強いことを表しており、地域での付加価値化が十分に進んでいないというのが実情である。</p> <p>この農業と並ぶ重要な産業である土木建設業は、公共投資削減の影響を反</p> | <p>(1～3 略)</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <p>帯広市は北海道の東部、広大な十勝平野の中心に位置し、大地を潤す十勝川や札内川の清澄で豊富な水や、全国有数の長さを誇る日照時間など豊かな自然の恵みを受けて、基幹産業である大規模な農業が展開されている。<u>十勝の農業産出額は北海道全体の24%を占め、帯広市は北海道内の市でランキング1位の産出額を誇っている。</u></p> <p>帯広市はこの農業を基幹とする第1次産業と、お菓子や乳製品、畜産加工品など関連する食品加工・製造業、加えて公共投資による土木建設業といった第2次産業、また十勝の中核都市であるという地勢から、地域に集まる人を対象とした第3次産業により発展してきた都市である。</p> <p>しかしながら、<u>営農規模の拡大による労働力不足や高齢化・後継者不足</u>といった問題や、ブランドイメージのさらなる向上のための「食の安全・安心」と環境へ配慮したクリーン農業の推進など多くの課題を抱えているほか、<u>WTO農業交渉の動向</u>など将来的な懸念材料も抱えているところである。</p> <p>また、農業と関連する食料品製造業は、製造品出荷額等の5割以上を占め、十勝圏を特長づける部門ではあるが、現状では1次産業の移輸出率が高く、大規模畑作・畜産を背景とした原料供給地帯としての性格が強いことを表しており、地域での付加価値化が十分に進んでいないというのが実情である。</p> <p>この農業と並ぶ重要な産業である土木建設業は、公共投資削減の影響を反</p> |

| 新 | 旧 |
|--|---|
| <p>映して平成11年度以降請負金額が減少を続けており、そこに従事する雇用保険被保険者数はここ5年間で<u>25%</u>近く減少するなど、雇用面でも大きな影響が出ている。</p> <p>(略)</p> <p>などにより、農畜産物を生産する1次産業と、加工・製造する2次産業、観光・サービスなど3次産業を一体的に発展させ、産業全体の活性化とバランスのとれた産業構造を確立し、雇用機会の拡大と併せ活力ある地域づくりを目指すものである。</p> <p>具体的には、<u>地域雇用創造推進事業</u>（パッケージ事業）の支援を受けることにより、<u>平成21年から23年度にかけて400名</u>の雇用創出を図るものである。</p> <p>(略)</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5-1 全体の概要</p> <p>本計画は、帯広市の取組みと連携して<u>地域雇用創造推進事業</u>（パッケージ事業）の支援を受け、また帯広畜産大学が実施する科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムと連携することにより、基幹産業である「食」を中心に地場産品のもつ潜在力を生かし、地域産業の活性化と雇用機会創出を図るものである。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次産業分野では、<u>優良な農地の維持と農畜産物の安定供給のため、農家経営の安定に向けた支援を行うこと。</u> ・<u>他地域との差別化や付加価値向上のため、農業経営者の異分野進出を支援すること。</u> | <p>映して平成11年度以降請負金額が減少を続けており、そこに従事する雇用保険被保険者数はここ5年間で<u>20%</u>近く減少するなど、雇用面でも大きな影響が出ている。</p> <p>(略)</p> <p>などにより、農畜産物を生産する1次産業と、加工・製造する2次産業、観光・サービスなど3次産業を一体的に発展させ、産業全体の活性化とバランスのとれた産業構造を確立し、雇用機会の拡大と併せ活力ある地域づくりを目指すものである。</p> <p>具体的には、<u>地域提案型雇用創造促進事業</u>（パッケージ事業）の支援を受けることにより、<u>平成18年から20年度にかけて403名</u>の雇用創出を図るものである。</p> <p>(略)</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5-1 全体の概要</p> <p>本計画は、帯広市の取組みと連携して<u>地域提案型雇用創造促進事業</u>（パッケージ事業）の支援を受け、また帯広畜産大学が実施する科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムと連携することにより、基幹産業である「食」を中心に地場産品のもつ潜在力を生かし、地域産業の活性化と雇用機会創出を図るものである。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次産業分野では、<u>優良な農地の維持と農畜産物の安定供給のため大規模な法人農家が増える中、それらに対し経営の安定に向けた支援を行うこと。</u> ・<u>十勝ブランドのさらなるイメージ向上に向け、有機性廃棄物の再資源化によるクリーン農業の推進を支援すること。</u> |

| 新 | 旧 |
|--|--|
| <p>・第2次産業分野では、高付加価値化や企業の新事業進出、事業規模拡大、マーケティング戦略などに必要な、中核的人材や専門的技術者を確保すること。</p> <p>・<u>地域資源を生かした新産業創出に不可欠な人材や、地域企業が求める人材の育成を支援すること。</u></p> <p>(略)</p> <p>5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>該当無し</p> <p>5-3 その他の事業</p> <p>5-3-1 受けようとする支援措置</p> <p>A <u>地域雇用創造推進事業（パッケージ事業）【B0902】</u></p> <p>(1)～(2)略</p> <p>(3)実施を希望する期間 平成21年度～平成23年度</p> <p>(4)行おうとする主な事業</p> <p>① <u>雇用拡大メニュー</u></p> <p>i <u>農業者の新規異分野進出、経営強化事業</u></p> <p><u>帯広・十勝の大規模農家は、農業環境の国際的な変化に対応すべく食品加工や飲食店、観光農園などの分野に進出しようとしており、そのための経営ノウハウや資金繰り、人材教育についてのセミナーを行う。また、大規模化に伴う係数管理や人材確保、育成方法のノウハウ構築のためのセミナーを行い、農業者の経営強化を支援する。</u></p> | <p>・第2次産業分野では、高付加価値化や企業の新事業進出、事業規模拡大、マーケティング戦略などに必要な、中核的人材や専門的技術者を確保すること。</p> <p>・<u>ブランド化を推進するうえで不可欠な、安全管理対策を推進できる人材や、地域企業が求める人材の育成を支援すること。</u></p> <p>(略)</p> <p>5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>該当無し</p> <p>5-3 その他の事業</p> <p>5-3-1 受けようとする支援措置</p> <p>A <u>地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）【C0901】</u></p> <p>(1)～(2)略</p> <p>(3)実施を希望する期間 平成18年度～平成20年度</p> <p>(4)行おうとする主な事業</p> <p>① <u>大規模農家・メガファーム人材確保・育成事業</u></p> <p><u>農業後継者の減少などに伴い、家族経営だけで地域農業を維持することが困難な状況が生まれつつある中で、優良な農地の維持と農畜産物の安定供給、雇用の確保がしやすくなるなどのメリットを生かすために、法人化による営農形態が増えている。</u></p> <p><u>これら大規模農家を地域の農業の中核をなす担い手として育成し、さらに、雇用確保と活性化に向けた一企業として普及させるには、一次産品</u></p> |

| 新 | 旧 |
|---|---|
| <p>ii 食品加工業振興による雇用創出事業 <u>帯広・十勝は豊富な原材料を武器にお菓子の王国を目指している。六花亭、柳月など全国的なメーカーは存在するが、中小・零細企業の職人のレベルアップを図ることで雇用の拡大を目指す。</u></p> <p>iii ブランド形成、マーケティング強化事業 <u>帯広・十勝の農産加工品、食品加工品などの本州市場、海外市場への販路拡大を図るためのマーケティング研修や海外との農産物、食品取引の人材育成を図り、食品メーカー、食品卸業での雇用拡大を促す。</u></p> <p>iv 創業、起業、新分野支援事業 <u>帯広・十勝での創業や異分野進出は、地元の食材や観光関連の地域資源を生かした観光分野と食品分野が7割を占めている。しかし、創業者の経営指針の甘さや担当社員の経験不足などから軌道に乗らないことも多い。こうしたことから、経営セミナーを実施し、創業のノウハウを構築し、安定的な雇用の創出を図る。</u></p> <p>v 経営雇用高度化事業 <u>全国各地の人材育成や雇用拡大の先進的な地域、企業の経営者などを講師に招いてセミナーを行い、地元企業等の取組につなげる。</u></p> <p>② 人材育成メニュー</p> <p>i 農業人材確保育成事業 <u>農業生産者も大規模化に伴い労働環境の改善による人材の確保が必要となっており、そのための酪農ヘルパーの確保と育成を図る。</u></p> <p>ii 産業機械人材育成事業 <u>農機具メーカーは帯広・十勝の農業生産を支えており、北海道全域に営業エリアを拡大している。また、中国への輸出も開始するなど人材の育成と確保が急務となっており、基本的な技術を取得した人材を育成する。</u></p> <p>iii 食品加工、新エネルギー人材育成事業 <u>帯広・十勝は豊富な原材料を武器にお菓子の王国を目指している。六花亭、柳月など全国的なメーカーは存在するが、中小・零細企業の職人の</u></p> | <p><u>の高付加価値化や生産から加工、流通、販売まで手がけることによる安定的な経営の実現が不可欠であり、そのためのノウハウの充実や労務管理の向上に対する支援を行う。</u></p> <p>②エコフードシステム推進人材育成事業 <u>家畜ふん尿や食物残さなど有機性廃棄物の再資源化は、消費者の健康・安全志向に応えるとともに、ブランドイメージの向上や環境負荷の低減による循環型社会を構築するうえで不可欠であり、その分野の企業で求められる人材の育成を図る。</u></p> <p>③地場産品活用マイスター等育成事業 <u>全国的に高い評価を得ている工房でのチーズづくりは、地域の特性を生かしたブランド品として定着してきたが、技術の継承を図るうえで次世代の担い手育成が課題となっており、それらに対する人材育成を支援する。</u> <u>また、国産ナチュラルチーズ事業は、今後の消費拡大の可能性や国際競争力の観点からも非常に有望な事業であることから、地域では大手乳製品加工・製造企業の工場新設も予定されており、それらを含めた地場産品の加工・製造業が求める人材を育成し、地元求職者の雇用促進を図る。</u></p> <p>④専門的・中核的人材確保事業 <u>新製品開発や加工技術の高度化に対応できる専門的技術者や事業の企画・立案、マーケティング戦略に精通した中核的人材など、地域・企業が求める人材の確保を図り、新商品開発や新事業進出など、地場産品の高付加価値化の推進を加速させ、消費拡大と地場産業の活性化を図る。</u></p> <p>⑤「食の安全・安心」推進人材育成事業 <u>「十勝ブランド化」「地産地消」など付加価値創造の取り組みを進めるうえで、「食」の安全性や品質の実証・保持を求める消費者ニーズに応えるため、加工・製造・流通段階での安全管理対策向上による経営基盤強化は、地域産業全体の競争力を高めるうえで不可欠である。</u> <u>そのため、地域企業におけるHACCP等品質管理システム導入にむけた専門</u></p> |

| 新 | 旧 |
|---|---|
| <p><u>レベルアップを図ることで雇用の拡大を目指す。また、大手乳業メーカーのチーズ工場が昨年建設され、中小企業の工房も増産している。</u></p> <p><u>世界的な原材料不足から、帯広・十勝のてん菜、澱粉などが注目されており、関連メーカーも順調な生産を行っている。さらに、規格外農畜生産物の再利用では、関連企業によるBDF工場が設立されるなど、技術者が必要となっていることから、地域企業の雇用ニーズに応える人材を育成し、地元求職者の雇用促進を図る。</u></p> <p>iv <u>観光人材育成事業</u></p> <p><u>2011年に札幌と帯広を結ぶ高速道路が開通する予定であることから、観光客誘致の期待が高まる一方で観光客に対する魅力を構築しなければ通過点とされてしまう可能性も生まれている。そのため、観光情報の発信やホスピタリティー、営業力の強化、タクシー等の接客業のスキルアップなどの人材育成を進める。</u></p> <p>v <u>ブランド形成、マーケティング強化事業</u></p> <p><u>帯広・十勝の農産加工品、食品加工品などの本州市場、海外市場への販路拡大を図るためのマーケティング研修や海外との農産物、食品取引の人材育成を図り、食品メーカー、食品卸小売業への人材供給を目指す。</u></p> <p>vi <u>環境リサイクル人材育成事業</u></p> <p><u>帯広市は環境モデル都市として認定を受け、リサイクル関連施設なども建設されている。また、農業生産が全道の約25%を占め、農業生産に伴うビニールなどの廃棄物の処理も行われている。</u></p> <p><u>農業生産の環境課題解決を側面から応援するため、基本的な技術やスキルを持った人材を供給する。</u></p> <p>③ <u>就職促進メニュー</u></p> <p>i <u>合同企業就職フォーラムの開催</u></p> <p><u>人口17万人の帯広市には大学等の高等教育機関が少なく、農業、食、観光のキーワードに対応する人材が圏外に流出している現状がある。</u></p> <p><u>そのため、地域企業が新事業展開や業務拡大するうえで必要とする専門</u></p> | <p><u>的人材の確保・育成を図る。</u></p> <p>⑥<u>農業資源を活かした滞在型観光推進人材育成事業</u></p> <p><u>滞在型観光の振興を図るうえで、観光産業を支える人材の育成が不可欠である。全国的に知名度の高い「北の屋台」のキーワードともなっている「地産地消」を推進できるオリジナルメニューの開発や、同じく「人の魅力」「こころの通い合い」など「北の屋台」にみるホスピタリティーの心を観光産業全体に普及させることにより、質の高い観光サービスを提供する人材の育成を図る。</u></p> <p><u>また、新たな食の観光資源としての育成を図るため、屋台からの独立など起業・開業を目指すものを支援する。</u></p> |

| 新 | 旧 |
|--|---|
| <p><u>的・中核的人材をネット求人や札幌、首都圏での面接会などの誘致活動により域外から確保する。また、合同就職フォーラム参加者や人材育成メニューのセミナーに参加した求職者、その他求職者と企業との出会いの場をつくりマッチングを図る。さらにジョブ・ジョブとかちのシステムを活用し、説明会参加者以外の各企業に求職者情報を提供しマッチングの機会を増大させる。</u></p> <p>ii <u>首都圏での就職セミナーの開催</u> <u>首都圏での就職セミナーを開催し、「帯広・とかち」の魅力のPR・周知と優れた人材の掘り起こしと確保に努める。</u></p> <p>iii <u>ジョブウェイ（求人サイト）を活用した人材確保</u> <u>ジョブウェイ（求人サイト）に求人企業・求人情報を登録し、中核的人材のエントリーを推進するとともに、札幌会場での合同企業説明会や首都圏での就職セミナーへの参加促進を図る。</u></p> <p>B 科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム 【B0801】</p> <p>(1)～(3) 略</p> <p>5-3-2 その他の関連事業（帯広市独自事業） (1) 略 (2) 地場産業の振興を主体にした内発型産業振興の取組</p> <p>③産学官連携に向けた取組 <u>平成17年に地域社会との連携による研究成果の普及とその活用の促進を明確に打ち出し、相互協力の一層の充実を図ることを目的として、帯広畜産大学と包括的連携協力を締結しているほか、帯広畜産大学や十勝管内の試験研究機関などの研究成果を企業の事業化に結びつけ、地域産業の活性化をはかるリサーチ&ビジネスパーク構想の策定を平成20年5月に策定し、その具現化に向け</u></p> | <p>B 科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム 【B0801】</p> <p>(1)～(3) 略</p> <p>5-3-2 その他の関連事業（帯広市独自事業） (1) 略 (2) 地場産業の振興を主体にした内発型産業振興の取組</p> <p>③産学官連携に向けた取組 帯広畜産大学や十勝管内の試験研究機関などの研究成果を企業の事業化に結びつけ、地域産業の活性化をはかるリサーチ&ビジネスパーク構想の策定に向け取り組んでいる。 特に平成17年には地域社会との連携による研究成果の普及とその活用の促進</p> |

| 新 | 旧 |
|---|---|
| <p>取り組んでいる。</p> <p>(3) 略</p> <p>6 略</p> <p>7 目標の達成状況に係る評価に関する事項</p> <p>帯広地域雇用創出促進協議会において、<u>地域雇用創造推進事業</u>を活用した求職者や事業所に対して毎年度アンケート調査を実施し、事業の取組及び雇用の創出に対する評価を行う。</p> <p>また、帯広畜産大学において実施する人材育成事業においては、帯広畜産大学・帯広市・北海道十勝支庁・その他関係機関等により事業運営委員会を発足させ、事業の進捗状況等を管理するとともに、育成した人材のフォローアップを行う。</p> <p>あわせて、「4」に記載されている人材養成数と製造品出荷額等の数値目標について、達成状況の評価を行う。</p> <p>8 略</p> | <p>を明確に打ち出し、相互協力の一層の充実を図ることを目的として、帯広畜産大学と包括的連携協力を締結している。</p> <p>(3) 略</p> <p>6 略</p> <p>7 目標の達成状況に係る評価に関する事項</p> <p>帯広地域雇用創出促進協議会において、<u>地域提案型雇用創造推進事業</u>を活用した求職者や事業所に対して毎年度アンケート調査を実施し、事業の取組及び雇用の創出に対する評価を行う。</p> <p>また、帯広畜産大学において実施する人材育成事業においては、帯広畜産大学・帯広市・北海道十勝支庁・その他関係機関等により事業運営委員会を発足させ、事業の進捗状況等を管理するとともに、育成した人材のフォローアップを行う。</p> <p>あわせて、「4」に記載されている人材養成数と製造品出荷額等の数値目標について、達成状況の評価を行う。</p> <p>8 略</p> |